

## ユニセフとは

ユニセフ (UNICEF：国際連合児童基金) はすべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、190の国と地域で活動しています。第二次世界大戦によって厳しい生活を強いられた子どもたちへの緊急支援を行うため、1946年に創設されました。現在は、子どもの権利を擁護する主要な機関として、戦争で被災した子どもに限らず子どもたちの健やかな成長のため、教育、保健、水と衛生、栄養、保護等の支援活動を行っています。



©UNICEF/UNI182445/Schermbrucker

## 日本ユニセフ協会とは

日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)は世界33の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会のひとつです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し、募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を行っています。1955年創立。

## ユニセフの使命

創立50周年を迎えるにあたり1996年に明文化されたユニセフの活動指針です。「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」の精神に基づいています。

ユニセフは、子どもの権利を守り、子どもが持って生まれた能力を十分に発揮できる機会を広げるために活動する国際連合の機関です。  
ユニセフは、「子どもの権利条約」に基づいて活動し、この条約が広く子どもに対する行動の基盤となるように努力します。  
ユニセフは、子どもの生存・保護・発達・参加が、人類の進歩にとって不可欠だと考えています。  
ユニセフは、各国の政府などに働きかけ、子ども最優先の原則を実現するように支援します。  
ユニセフは、最も困難な状況にある子どもたちが特別な保護を受けられるように努めます。  
ユニセフは、緊急事態にすばやく対応して、子どもを守ります。  
ユニセフは、中立の機関で、差別なく、最も支援を必要としている子どもを優先的に援助します。  
ユニセフは、女性と女の子が男性と平等の権利を得られるように支援します。  
ユニセフは、国際社会の平和と調和のある発展を目指します。  
(「The Mission of UNICEF」抄訳)

## これまでのあゆみ

|       |   |
|-------|---|
| 1945年 | 第二次世界大戦が終わり、国際連合が成立                                       |
| 1946年 | 第1回国連総会で UNICEF (国連国際児童緊急基金) を創設                          |
| 1949年 | 日本の子どもへのユニセフ緊急支援―学校給食での粉ミルクなど―始める                         |
| 1953年 | 名称を「国際連合児童基金」と改める<br>活動を開発途上国の子どもへの長期的な支援へ広げる             |
| 1955年 | 日本ユニセフ協会設立  |
| 1959年 | 国連総会で「児童の権利宣言」採択  |
| 1962年 | ユニセフ、初等教育への支援を始める   |
| 1964年 | 日本へのユニセフの支援が終わる(15年間の援助総額、約65億円)                          |
| 1965年 | ユニセフ、ノーベル平和賞を受賞   |
| 1979年 | 国連総会が、世界の子どもを考える年として「国際児童年」と定め、ユニセフが中心になってキャンペーンを展開       |
| 1983年 | ユニセフ「子ども健康革命」を提唱<br>子どもの生存と健康のための支援事業に重点をおく               |
| 1989年 | 国連総会で「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」を採択<br>ユニセフ、子どもの人権を支援活動の基礎とする |
| 1990年 | 「子どものための世界サミット」開催   |
| 1994年 | 「子どもの権利条約」を日本が批准する  |
| 1996年 | ユニセフ創立50周年<br>「ユニセフの使命」を発表する                              |
| 1999年 | ユニセフ、子どものライフサイクル―乳幼児期・学齢期・青年期―に合わせた総合的支援活動を開始             |
| 2002年 | 「国連子ども特別総会」開催。21世紀の新たな子どものための目標を採択                        |
| 2005年 | 日本ユニセフ協会創立50周年を迎える  |
| 2006年 | 5歳未満児の死亡数(年間)がはじめて1,000万人を下回る(最新データでは530万人)               |
| 2014年 | 「子どもの権利条約」採択25周年を迎える                                      |
| 2015年 | 2030年までの新たな目標「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択される                      |

©UNICEF

## 子どもの権利

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」は、すべての子どもが等しく持っている権利とそれを実現するためにすべきことを定めた54条からなる国際条約です。1989年の国連総会において採択され、1990年9月に発効しました。2019年9月現在、締約国・地域は196。世界で最も多くの国

### 「子どもの権利条約」子どもの権利は大きく分けて4つ



©UNICEF/UNI197910/Schermbrucker

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

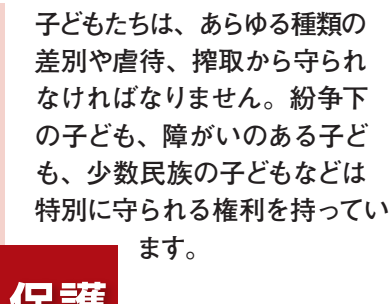
子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

が賛同し、守ることを約束している条約です。日本は、1994年4月に158番目の国としてこの条約を批准しました。

\*基効とは、約束を守ることを決めた国の数などが一定の基準に達し、取り決めが国際的慣習として力を持つようになることです。  
\*\*批准とは、国が条約を守り従うための必要な国内法の改正などを準備したうえで、条約に拘束されるという正式な意思表示をします。

### 「子どもの権利条約」子どもの権利は大きく分けて4つ



©UNICEF/UNI197910/Schermbrucker



©UNICEF/UNI197910/Schermbrucker

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、すこやかに成長する権利を持っています。病気やけがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

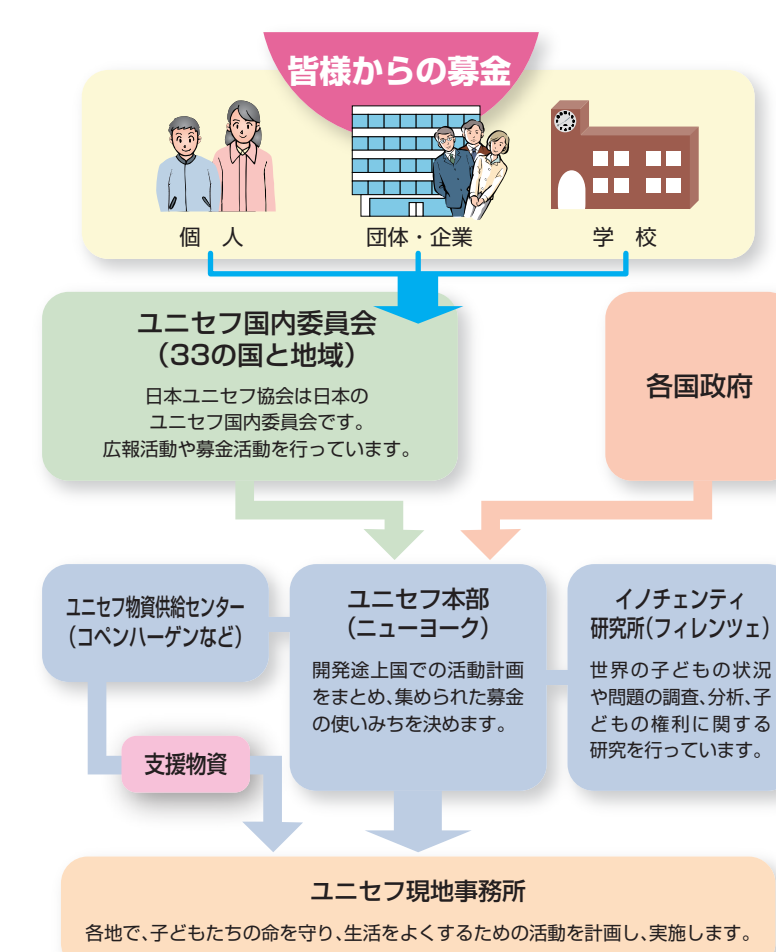
## ユニセフ 基礎リーフレット



©UNICEF/UN0318049/Frank Ockenfels

unicef for every child

## ユニセフの組織と募金の流れ

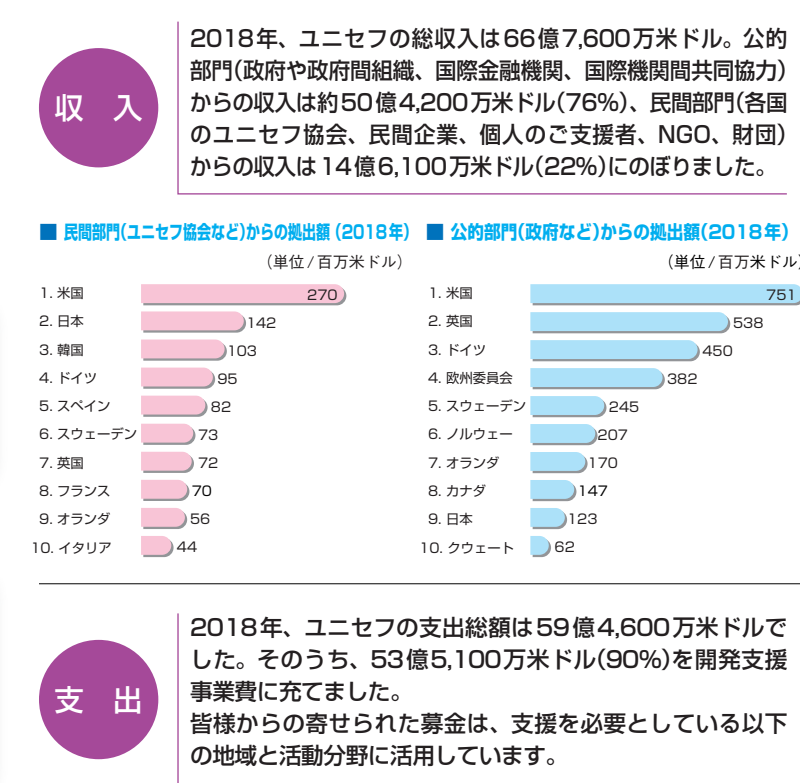


## 世界の子どもたちへ



©UNICEF/UNI181989/Rich

## ユニセフの収入と支出



## ユニセフにご協力をいただく方法

- ユニセフ募金
- ユニセフの活動は皆様からのご協力によって支えられています。
  - \* (公財) 日本ユニセフ協会への寄付金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税および法人税の控除対象となります。
- 郵便局(ゆうちょ銀行)から
- 全国の郵便局(ゆうちょ銀行)から募金を送金していただけます。  
振替口座：00190-5-31000  
口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会  
\*窓口でのお振込みの場合は、送金手数料が免除されます。
- お電話から
- クレジットカードによる募金をフリーダイヤルで直接承っております。  
☎0120-88-1052 (平日 9:00 ~ 18:00)
- インターネットから
- クレジットカード、インターネットバンキング、コンビニ支払い、または電子マネー(楽天Edy)による募金を受け付けています。  
パソコン・スマートフォン：www.unicef.or.jp

皆様は募金で、たとえばこんな支援が実現できます。

- 100円で ... 下痢による脱水症から子どもの命を守る 経口補水塩 14袋
  - 500円で ... 4〜5リットルの水を浄化できる 浄水剤 1,250錠
  - 1,000円で ... HIV/エイズ簡易診断キット 9回分
  - 3,000円で ... マラリアを運ぶ蚊から子どもを守る 殺虫剤処理済みの蚊帳 13張り
  - 8,000円で ... 40人分の学用品と教材が入った「スクール・イン・ア・バッグ」1セット
- (2019年1月現在の価格。1ドル111円として計算。輸送や配布のための費用は含まれていません)

### ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム

金融機関の口座、またはクレジットカードから、毎月任意の一定額を自動引き落としで募金いただけるプログラムです。世界の子どもたちやユニセフの活動についての広報誌「ユニセフ・ニュース」(年4回発行)をお送りします。お申し込みは、ホームページまたはフリーダイヤルへ。

### 外国コイン募金

旅行や出張で使いきれなかった海外のコインなど、日本では換金ができない外国の貨幣もユニセフ募金になります。「日本ユニセフ協会 外国コイン係」宛てにお送りください。しっかり梱包していただき、外側に内容物は「メタル」とご明記ください。

\* 国内の主要国際空港の税関検査場(帰国時)や毎日新聞社、三井住友銀行、JTBグループの店頭などにも外国募金用の募金箱が設置されています。(一部取り扱っていない支店・支局もあります)

### ユニセフ支援ギフト

ユニセフの支援物資を途上国の子どもたちにプレゼントする支援方法です。ワクチン、浄水剤などの支援物資をご指定ください。ご協力いただいた方には、支援ギフトの写真と説明が記載されたカードをお届けします。お申し込みはホームページまたはフリーダイヤルへ。

### ユニセフハウスを訪問する

世界の子どもたちの暮らしやユニセフの活動について学ぶことができる展示スペースがあり、ボランティアによるガイドツアーも行っています。ユニセフハウスに、ぜひ一度足をお運びください。  
●開館日と時間：平日および第2・第4土曜日 10:00 ~ 17:00 (祝祭日、年末年始、6月9日創立記念日を除く)  
\*ガイドツアーは開館日の16:00まで。ホームページからご予約ください。

### 日本ユニセフ協会の賛助会員になる

日本ユニセフ協会が行う様々な活動を、賛助会費によってご支援いただく協力方法です。賛助会員には「ユニセフ・ニュース」や資料をお送りしますので、世界の子どもたちの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にさせていただくことができます。賛助会員申込書のご請求は、日本ユニセフ協会 団体・企業事業部、もしくはお近くの協定地域組織までご連絡ください。

その他のご協力方法についてはホームページをご覧ください

世界の子どもの状況やユニセフの活動の最新情報をお知らせするページのほか、様々なテーマの特集ページもございます。ご参加いただけるイベント情報なども掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページ：www.unicef.or.jp

ユニセフ

ユニセフ 募金口座

郵便局(ゆうちょ銀行)振替口座: 00190-5-31000  
口座名義: 公益財団法人 日本ユニセフ協会

\*窓口でのお振り込みの場合は、送金手数料が免除されます。  
\*日本ユニセフ協会への募金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税および法人税の控除対象となります。

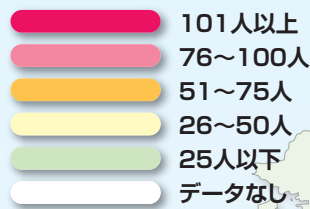
| 日本ユニセフ協会 協定地域組織  |   |
|--|---|
| ●北海道ユニセフ協会<br>〒063-8501<br>札幌市西区発寒11条5-10-1<br>コープさっぽろ本部2F<br>TEL: 011-671-5717              | ●岐阜県ユニセフ協会<br>〒509-0197<br>各務原市堀谷各務原町1-4-1<br>生活協同組合コープさぽろ1F<br>TEL: 058-379-1781           |
| ●岩手県ユニセフ協会<br>〒020-0690<br>滝沢市上沢220-3<br>いわて生協本部2F<br>TEL: 019-687-4460                      | ●山梨県ユニセフ協会<br>〒402-0382<br>金沢市古府2-189<br>コープいわて古府センター2F<br>TEL: 076-255-7997                |
| ●宮城県ユニセフ協会<br>〒981-3194<br>仙台市泉区八乙女4-2-2<br>みやぎ生協A棟3F<br>TEL: 022-218-5358                   | ●三重県ユニセフ協会<br>〒514-0009<br>津市羽所町379<br>コープみえ本部ビル1F<br>TEL: 059-273-5722                     |
| ●福島県ユニセフ協会<br>〒960-8105<br>福島市休庵町4-8<br>フコクふくし4F<br>TEL: 024-522-5566                        | ●奈良県ユニセフ協会<br>〒630-8253<br>奈良市内侍岡町6-1<br>奈良県民会館2F<br>TEL: 0742-25-3005                      |
| ●茨城県ユニセフ協会<br>〒310-0022<br>水戸市梅香1-5-5<br>茨城県JA会館分館5F<br>茨城県生活協同組合連合会内<br>TEL: 029-224-3020   | ●大阪ユニセフ協会<br>〒556-0017<br>大阪市浪速区東2-4-1<br>OASISビル2F<br>TEL: 06-6645-5123                    |
| ●埼玉県ユニセフ協会<br>〒336-0018<br>さいたま市南区高本町2-10-10<br>コーププラザ高本1F<br>TEL: 048-823-3932              | ●京都府ユニセフ協会<br>〒623-0021<br>綴府本町2-14<br>あやべアロセンター内<br>TEL: 0773-40-2322                      |
| ●千葉県ユニセフ協会<br>〒264-0029<br>千葉市若葉区桜木北2-26-30<br>コープみらい 千葉エリア<br>桜木駅前所 本館<br>TEL: 043-226-3171 | ●兵庫県ユニセフ協会<br>〒658-0081<br>神戸市東灘区田中町5-3-18<br>コープたづな生活文化センター4F<br>TEL: 078-435-1605         |
| ●神奈川県ユニセフ協会<br>〒231-0063<br>横浜市中区花咲町2-57<br>ミナビル201<br>TEL: 045-334-8950                     | ●鳥取県ユニセフ協会<br>〒680-1202<br>鳥取市河原町南5-97-1<br>鳥取県生協内<br>TEL: 0858-71-0970                     |
| ●岡山県ユニセフ協会<br>〒700-0823<br>岡山市北区丸の内1-14-12<br>小野アルミビル2F<br>TEL: 086-227-1889                 | ●宮崎県ユニセフ協会<br>〒980-0014<br>宮崎市鶴島2-9-6<br>みやざきNPO/ハウス307号<br>メガロのミナビル3F<br>TEL: 0985-31-3808 |
|  | ●鹿児島県ユニセフ協会<br>〒892-0842<br>鹿児島   |



# 5歳未満児死亡率世界地図

## 5歳未満児死亡率（2018年）

出生1,000人当たりの5歳未満児の死亡数



<出典:世界子供白書2019>

## ユニセフが活動している国と地域

例: 国名 ユニセフが子どものための支援活動をしている国と地域

国名 ユニセフ国内委員会が活動している国と地域

国名 ユニセフとユニセフ国内委員会が特に活動していない国と地域

※世界33の先進国・地域には、ユニセフ本部との協力協定により、各国において唯一、ユニセフを民間で代表する国内委員会がおかれています。

(2019年12月現在)

## アフガニスタン



アフガニスタンでは、370万人もの子どもたちが学校に通えず、そのうち60％は女の子です。ユニセフは教育省やほかのパートナーと協力しながら、貧困や差別、紛争などが原因で最も弱い立場におかれている人々、特に女の子が質の高い教育を受けられるような支援を行っています。アフガニスタン北部パンジシル州の学校で、ユニセフの新しい学習用品を受け取る子どもたち。

## ユニセフの活動基準

ユニセフは3つの基準から、その国と地域で支援活動を行うかどうか決めています。

- 1 5歳未満児死亡率
- 2 国民1人あたりの所得
- 3 子ども(18歳未満)の人口

## ラオス



正しい衛生習慣は健康を維持し、病気の蔓延を防ぐことにもつながります。ユニセフは手洗いのための設備をつくらせ、「せっけんによる手洗いで命を守ることができる」というメッセージを学校やコミュニティで伝えています。ラオスのサラワン県の学校では、就学前児童のためのクラスでも、子どもたちが手洗いや正しい衛生習慣の重要性について学んでいます。

## ユニセフ本部と地域事務所

現地事務所のほかにユニセフの本部と地域事務所があります。

本部：ニューヨーク/米国  
ヨーロッパ事務所：ジュネーブ/スイス  
欧州・中央アジア地域事務所：ジュネーブ/スイス  
東部・南部アフリカ地域事務所：ナイロビ/ケニア  
西部・中部アフリカ地域事務所：ダカール/セネガル  
ラテンアメリカ・カリブ海諸国地域事務所：パナマ市/パナマ  
東アジア・太平洋地域事務所：バンコク/タイ  
中東・北アフリカ地域事務所：アンマン/ヨルダン  
南アジア地域事務所：カトマンズ/ネパール  
物資供給センター：コペンハーゲン/デンマーク  
イノベンティ研究所：フィレンツェ/イタリア  
ブリュッセル事務所：ブリュッセル/ベルギー  
東京事務所：東京/日本  
韓国事務所：ソウル/韓国  
グローバル・シェアド・サービシス・センター：ブダペスト/ハンガリー

※トルコはユニセフ事務所とユニセフ国内委員会の両方があります。

## ニジェール



ニジェールでは2人にひとりがか保健医療サービスを受けられないでいます。ユニセフは、子どもたちが乳幼児期に十分なケアを受け、より良い人生のスタートを切ることができるよう、予防接種の普及や栄養改善など、総合的な支援を行っています。写真はニジェール中部タムロム村の保健センターで予防接種の順番を待つ母親と子どもたち。

## モザンビーク



モザンビーク・ナンブラ州では出生登録推進プロジェクトが展開され、多くの子どもたちが出生証明書を受け取ることができました。正式な出生登録がなされなかったり、身元証明書類がないと、教育や保健ケア、社会保障といった重要なサービスを受けられなくなってしまう可能性があります。ユニセフは子どもたちが出生登録、国籍を取得する権利、正式な身元登録を有する権利を保障されるよう支援活動を行っています。

# 子どもたちのための ユニセフの主な活動

ユニセフは世界の子どもたちが生存し、健やかに成長できるよう他の国際機関、政府、NGOなどと協力しながら、教育、保健、栄養、水と衛生、保護、緊急支援、アドボカシーなどの支援活動を行っています。

## 持続可能な開発目標 (SDGs)

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える首脳が参加して、ミレニアム開発目標(MDGs)を受け継ぐ新たな国際目標として、「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットからなるSDGsは、ユニセフが重視してきた公平性のアプローチ「誰ひとり取り残さない」の考えを根拠に持ち、先進国も途上国も取り組むべき普遍的な目標として設定されました。

## Sustainable Development Goals



## ユニセフ戦略計画（2018年－2021年）

ユニセフはSDGsの達成を目指すとともに、すべての子どもが公平な機会を得られる未来の実現に向けて、2021年までに達成すべき成果を「ユニセフ戦略計画2018-2021年」として明らかにしました。

「ユニセフ戦略計画2018-2021年」は、「生存と成長」、「教育」、「子どもの保護」、「水と衛生」、「公平な機会」の5つの分野に焦点を当てています。これらは互いに関連しあっているため、ひとつの分野への取り組みが他の分野の成果にもつながります

## 教育

世界には貧困などのために小学校に通うことができない子どもが約5,900万人います。地理的な要因、経済状況、ジェンダー、障がい、紛争や災害による影響によって、多くの子どもたちが適切な教育を受ける権利を奪われています。

教育の機会は、子どものその能力を十分に伸ばしながら成長し、社会に参加し、またその次の世代を健やかに育てていく基礎になります。ユニセフは、男の子も女の子も平等に学ぶ機会を得、質の高い教育を受けられるよう、学習資料の提供、学校施設の整備、教員へのトレーニングなどの支援を展開しています。

## 子どもの生存と成長

世界では5歳の誕生日を迎えることなく亡くなる子どもは年間約530万人。その原因の多くは、安全な水やワクチンがあり、適切なケアを受けられていれば防ぐことができるものです。ユニセフは、すべての子どもが乳幼児期に十分なケアを受け、守られ、より良い人生のスタートを切ることができるよう、予防接種の普及、安全な水や衛生的な環境の確保、母乳育児の推進、栄養改善など、総合的な支援を行っています。

## 5歳未満児の死亡原因(2018年)

感染症が、5歳未満児の命を奪う主な原因  
出典：WHO and Maternal and Child Epidemiology Estimation Group (MCEE) interim estimates produced in September 2019, applying cause fractions for the year 2017 to UN IGME estimates for the year 2018.

